

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかり美唄西(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3件
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8件
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋数の多さとホールの広さ	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は保育所として使用していた施設であり、ホールも広く、ボールを使った遊びや鬼ごっこ等の動的な運動が可能である。 ・ホール以外の2室については、工作やお絵描き、学習、読書等の静的な活動を行っている。また、クールダウンしたり、保護者と面談する場所としても活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用するこどもの特性を考慮しながら、今後も部屋をどう活用するのがいいのかを検討し、支援の充実を図っていきたい。
2	保護者交流の場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・親子レク、イージーベースボール大会、保護者学習会(2回)、保護者交流会を開催し、保護者交流の場を積極的に設けている。 ・保護者学習会では子育てをテーマにし、家族の対応力の向上も目的として行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は夏祭り等の行事の開催を検討し、地域の方も含めた交流の場を模索していきたい。 ・本社にて全事業所が参加するモルック大会開催も検討されており、保護者交流の場をさらに充実させていきたい。
3	職員の専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の他に、事業所全体の研修や事業所間研修、分野別の研修など、多種多様な研修を受ける機会がある。 ・福祉施設や養護学校寄宿舎での勤務経験がある職員もあり、そこでのキャリアを活かして、障がいの重い子に対しての支援にも役立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職場内外の研修を積極的に受講し、職員1人1人の資質を向上させることで、こどもやご家族の方に満足していただける支援につなげていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・旧保育園の施設を利用しているが、建てられてから50年以上経過しており、床が柔らかくなり歪み箇所が出て来たり、他にも修繕が必要な箇所が出て来ることがある。 ・バリアフリー化がされておらず、玄関や部屋と部屋の間に段差がある箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・床の歪みについては、都度補修を行っており、今後も不具合箇所を確かめながら補修を継続していく。 ・他の修繕箇所についても、本社と協議しながら速やかに対応し、施設の安全を確保していく。 ・バリアフリー化についても、利用するこどもの状況等を考慮し、本社と協議しながら必要箇所の検討を行う。
2	安定的な職員数の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行等で職員の休みが重なると、人員の不足が懸念される。 ・職員の少ない日については、他事業所からの人員のヘルプや送迎のヘルプ等で対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も他事業所との交流会や事業所間研修を行っているが、継続して事業所間の連携を深め、短期的に人員が不足する場合は他事業所からの送迎のヘルプや人員のヘルプで補っていく。 ・本社でも職員の募集を行っているが、事業所の窓にも募集の掲示をしており、引き続き安定的な人員の確保に努めていきたい。
3			